

小学校第4学年国語科学習指導案

日 時：令和3年10月29日（金）5校時
児 童：男子14名 女子9名 計23名
指導者：小渡 修子

- 1 単元名 登場人物の変化を中心に読み、物語をしょうかいしよう
教材名 「プラタナスの木」（光村図書 4年下）

2 単元について

（1）教材について

本単元の「プラタナスの木」の主人公とその友だちは、児童と同じ4年生である。また、小さな公園でサッカーを楽しむ小学生という、児童にとって身近な人物設定である。そのため、児童は、自分の体験と重ね合わせながら読むことができ、登場人物の気持ちを想像しやすい教材となっている。

（2）児童について

本学級の児童は、「白いぼうし」や「一つの花」、「ごんぎつね」の学習で、叙述をもとに登場人物の気持ちを想像する学習を重ねてきた。児童は、文章や言葉から想像を広げながら読み、物語を楽しむことができるようになってきた。しかし、登場人物の気持ちの変化や場面の変化に着目して読むことはまだ十分ではない。登場人物の気持ちや考えの変化を、場面の移り変わりと結びつけながら読み進めることで、登場人物の気持ちの変化を具体的に捉えさせたい。

（3）指導について

本単元で付けたい主な力は、「登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる」力である。

本単元の言語活動を、「物語の魅力をリーフレットに書いて友だちと紹介し合う」ことに設定した。「友だちと物語の魅力を紹介し合うために登場人物の気持ちや考えの変化をしっかりと読み取り、感想をまとめていく」という目的を明確にする。また、紹介し合うための手段として使うリーフレットを単元の導入で児童に示すことで意欲をもたせられるようにしたい。リーフレットの項目には、「物語の前半と後半で変化したものは何か」「この物語の魅力は何か」を入れ、学習したことが表れるような形にしたい。同じ物語を読んでも共感するところや感動する内容は様々であるという異なる視点にふれることで読みを深めさせたい。

3 単元の目標

- （1）様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。

[知識及び技能]（1）オ

- （2）登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像できる。

[思考力、判断力、表現力] C（1）エ

- （3）登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。

[思考力、判断力、表現力] C（1）イ

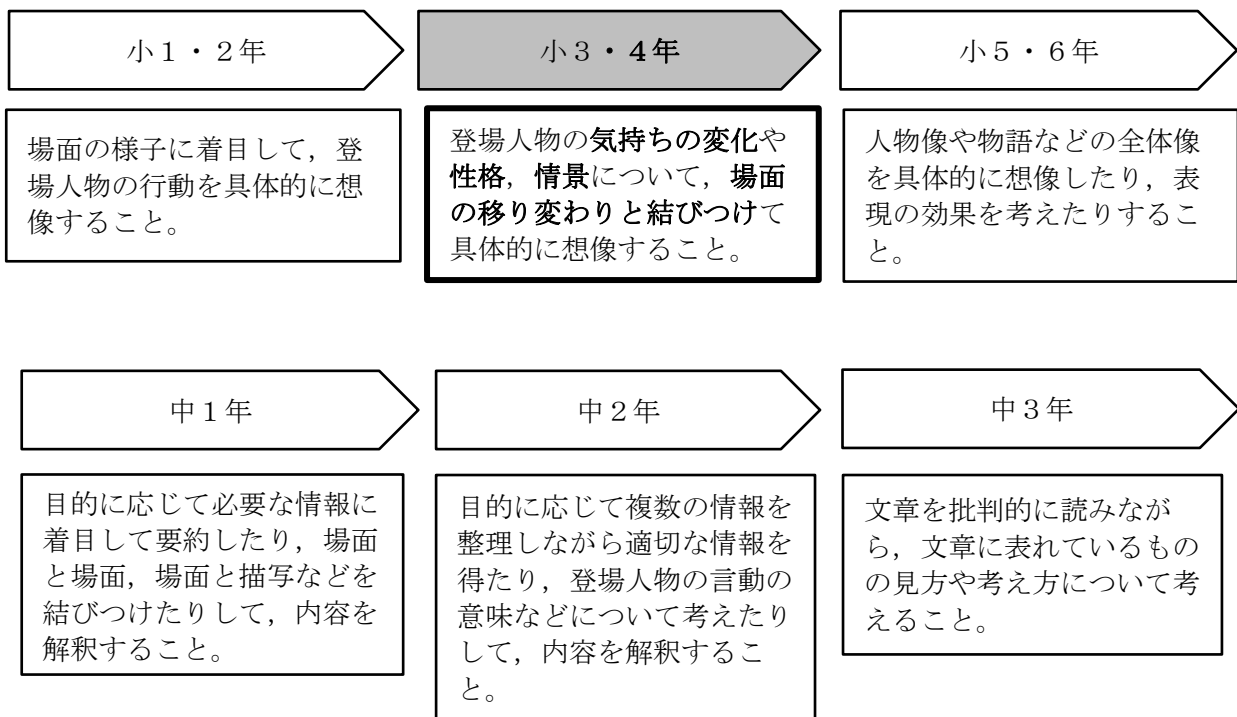
- （4）言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増やし，語彙を豊かにしている。 (1) オ	①「読むこと」において，登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。(C (1) エ) ②「読むこと」において，登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉えている。(C (1) イ)	①進んで，登場人物の気持ちの変化について，場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像し，学習の見通しをもって物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。

5 発展と関連 (読むこと・精査解釈)



6 単元の指導計画 (全8時間 本時6/8)

次	時	目標	学習活動	主な評価規準
一	1	単元の見通しをもつ。	○学習の見通しをもつ。 ・既習の物語文のリーフレットを提示し，本単元の言語活動のイメージをもつ。 ・「プラタナスの木」を読み，初発の感想をもつ。(子どもたちの疑問や考えたことを課題につなげる。)	
	2		○初発の感想を分類し，おおまかな学習計画を立てる。	

二	3	登場人物の変化を中心に読み、「プラタナスの木」の魅力について自分の考えをまとめる。	○物語の設定をとらえ、物語の大体の内容を把握する。	知① 叙述に着目して読むことで、様子や行動、気持ちを表す語句の量を増やしているかを確認する。(ノート・発言) 思② 会話文や行動、情景などの叙述に着目して、登場人物の変化などを読み取っているかを確認する。(ノート・発言) 思① 場面と場面のつながりを考えたり、自分と照らし合わせて具体的に想像したりしながら読み、登場人物の変化やそのきっかけを考えているかを確認する。(ノート・発言) 態① 学習の見通しをもって、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像し、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしているかを確認する。(リーフレット)
	4		○公園やプラタナスの木の変化について考える。	
	5		○マーちゃんの変化を考える。	
	6 本時		○マーちゃんがおじいさんのことをどう思っているのかを考える。	
	7		○「プラタナスの木」の魅力についてまとめ、リーフレットに書く。	
三	8	魅力を紹介し合い、よさを見つけたり、自分の考えを広げたりする。	○リーフレットを使って、魅力を紹介し合う。 ○単元の振り返りをする。	思①② 紹介する文章を友だちと読み合い、よさを見つけたり、自分の考えを広げたりしているかを確認する。(発言・ノート) 態① 友だちと感想を伝え合う活動に、進んで取り組んでいるかを確認する。(ノート・観察)

7 本時について

(1) 本時の目標

登場人物について書かれている叙述と、場面の移り変わりを結びつけて読み、マーちゃんがおじいさんの存在についてどう思っているかを具体的に想像することができる。

(2) 研究内容1【主体的に自分の考えをもち、表現するための手立ての工夫】に関わって

国語部会では、表現力の定義を「自他とのかかわりをもとに、自分の考えを相手に分かるように伝えようとする力」とした。児童の初発の感想や読みの問いから、「おじいさんの存在」が話題に上がると予想される。児童の疑問から課題を設定し、主体的な学習につなげたい。また、根拠となる叙述を焦点化して考えたり、考えたことを友達と交流したりすることで、より深い学びにつなげるようにしたい。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	留意点(○) 評価規準
導入 (5分)	1 前時の想起をする 2 学習課題を確認する	○児童の初発の感想やこれまでの学習の中で生まれたおじいさんに関する疑問を紹介し、本時の学習課題につなげる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 研究内容1に関わって 児童から出た疑問と課題をつなげることで、主体的な学習にしていく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> マーちゃんは、おじいさんのことをどう思っているのだろう。 </div>
展開 (35分)	3 見通しをもつ (1) 本時の学習の流れを確認する。 (2) 読みの見通しをもつ。 ①おじいさんの人物像を確認する。 ②みんなで深めたい言葉や文について話し合う。 4 学習課題を解決する (1) おじいさんの人物像を捉える。 (2) 「春になれば…きっとまた、おじいさんにも会える。」という一文について考える。 (3) マーちゃんがおじいさんにお手紙を書くとしたら、どんなことを書くのかを考える。 (4) 全体で交流する。 5 学習課題についてまとめる ・マーちゃんがおじいさんのことをどう思っているかについてまとめる。	○本時の学習の流れやゴールをイメージすることで、活動の目的意識をもたせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 研究内容1に関わって 課題解決にせまるための根拠となる叙述を焦点化して考えることで、自他の意見から、自分の考えをより一層深められるようにする。 </div> ○おじいさんに「会える」と言い切っているマーちゃんの気持ちを考えることで、マーちゃんの思いについて迫っていく。 ○お手紙を書く時間をしっかりと確保することで、どの児童もマーちゃんのおじいさんへの思いを表現させる。 思① 根拠となる文や言葉を解釈しながら、マーちゃんがおじいさんのことをどう思っているのかについて、自分の考えをもっている。(手紙・発言)
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る	○課題解決に結びついた言葉や気づき、友達の考えなどを振り返って書くことで、学びの実感をもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 最初は、おじいさんとマーちゃんの関係がそんなに深いとは思わなかったけれど、友達の意見を聞いて、マーちゃんのおじいさんへの思いを想像することができた。 おじいさんがプラタナスの木そのもののような人だと想像できるような文が読み返すとたくさんあって、そのような読み方をするのもおもしろいと思った。 </div>

